調達管理番号・案件名
26a00709_ソロモン国持続的森林管理普及に向けた能力強化プロジェクト

質問と回答は以下のとおりです。

2026年10月9日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	10	第3条　2. パイロットサイトの選定	本プロジェクトでは先行アドバイザー案件のパイロットコミュニティに加えて、CB-SFRMの実証サイトとして新たにパイロットサイトを選定することを想定しているとありますが、先行アドバイザー案件で支援した67コミュニティに関する情報（製材機の利用状況や土地利用計画の有無等含）の開示は可能でしょうか。	外務省の経済社会開発計画によって製材機の調達が行われたため、現時点で情報の開示は難しいですが、契約締結後に情報を共有することは可能です。
2	10	第3条　2.（3）外部資金の獲得支援　及び　第4条　2.（1）プロジェクトの活動に関する業務	成果品として求められているファンディング・プロポーザル草案につき、現時点で貴機構が想定している『業務実施コンサルタントが最低限対応すべき内容・範囲』についてご教示ください。	外部資金機関が要求する内容を満たした、提出可能なファンディングプロポーザル草案の作成を想定しています。
3	11	第4条　2.（1）プロジェクトの活動に関する業務	成果及び活動に、CB-SFRMマニュアルの政府承認等の公式化については記載がありませんが、仮に公式化されていない場合でも、外部資金等を獲得して全国展開を行うことはソロモン政府として問題ないという理解でよいでしょうか。	全国展開の主体は森林研究省です。そのため公式化されなければ全国展開はできません。カウンターパートであり、ソロモン政府機関である森林研究省とともに成果2「CB-SFRM手法を最終化する」を達成することはすなわちソロモン政府による公式化を意味します。
4	18	第7条　機材調達	本業務において機材調達は想定されていないとありますが、生計向上活動の内容次第では活動実施に必要となる資機材の調達が案件開始後に求められる可能性もあるかと考えております。但し、サイトも対象とする活動内容の絞り込みもできていない段階で必要な資機材を特定することは困難となるため、必要性の高い資機材が特定された場合には長期専門家の予算（在外事業強化費）での調達をご検討いただくことは可能でしょうか。	必要と判断された機材の調達は基本的に専門家の予算から支出することを想定しております。
5	22	第3条　2.（4）想定する具体的な事業連携	公示及び詳細計画策定調査報告書では、SolGeo-FIMSの運用強化やシステム機能改善等についてEFIとの連携を検討するとされています。EFI・SIG-ICTとの協議において、具体的に協議した内容、もしくは既に合意又は予定されている支援内容、また想定される実施時期及び役割分担があればご教示ください。	EFIはSolGeo-FIMSへの資金援助に興味を示してはいるものの、具体的な金額や支援の時期等の議論には至っておりません。そのため本案件のなかで具体的な支援についての議論に進展することを期待しております。

以上